信長探訪倶楽部　１０月行事　武田攻め、勝頼自刃へ

先に安土城探訪を終えたところで暑い夏を迎え、ホットしたところで日本三大山城と呼ばれる岩村城跡に出かけました。岩村城は源頼朝の時代に築城された歴史ある山城で、信長の時代には武田軍に向かい合う位置にありました。城主がなくなった後、信長叔母と信長五男坊丸で守っていましたが、武田の将秋山信友に攻められ、家臣や領民を守るため秋山と政略結婚します。

その後、長篠の戦いで勝利した織田軍が優位となり、弱体化した武田軍に信忠を大将とする軍勢が攻めかかり、５か月後岩村城は陥落します。これをきっかけに織田軍は破竹の勢いで武田軍を追い詰め、ついに天目山にて勝頼を自刃に追い込むのです。

１０月22日、楠を出発して3時間後、岩村城跡に到着。案内図前で記念撮影。標高717mの山頂に着くまで対向車に合わないかヒヤリと･･･

山頂近くの駐車場に止めたので、本丸まで楽勝。元気な足取りの４人なのだ

岩村城本丸にある慰霊碑の前で記念撮影。岩村城を攻略した気分？

駐車場近くから見た本丸を支える石垣。石垣の積み方が隙間なしなので戦国後期の作ではとの仲間の意見。さすが倶楽部員

これが三大山城を象徴する六段壁の石垣。ぜひ皆さんも一度見てください

女城主の郷と名付けられた岩村の城下町を散策。町並みや商家の佇まいに思わず立ち止まる4人であった

岩村城下にある復原された藩主邸太鼓櫓。時を知らせる役目を負っていたこの奥には岩村歴史資料館がある。岩村の三偉人を教えられた